

義なりとのこ古語よりハハハハ前のおれ故事をよめるく假
字あをくみへれども本居と餌意とをうけるなり也

[illegible]

いふにこれハ助信少く唯多き也羽くも又居正身のきうと
おゆかへもきうとをこぼる也叔鷹の名を食時羽と動く名の

上よりせく羽や餌を引ちもりや羽のきこハ音の引るを

ひてぬきもせだわれを極くともふりちりてふかそれ

鷹の足はもと鷹のぬぐせみくわさみむ多く餌と

喰時よわふ事のうゑとある也古語よ羽杖羽風など有り合せ

いどもく〜てゆ〜あ〜べ 古寫本塙本六二、句引